



アユモの加盟スポットの皆さん(取り組みなどは下欄参照)

## 未来のために

## 今できること

飢餓・貧困・差別・ハラスメント・温暖化による自然災害…。地球上では、人々の命や安心を脅かす多くの問題が起きています。これらを解決し、より良い未来にするために考えられたのが、持続可能な開発目標「SDGs」です(左下欄参照)。

市では2021年に、楽しみながらSDGsを知り、生活に取り入れられるスマートフォン向けアプリ「まちのコイン」を導入(左欄参照)。多くの市民や事業者の皆さんが、取り組みを始めています。目標を達成するには、世界中の人々が行動を変えることが欠かせません。一人一人にできることは小さくても、みんなで取り組めば、大きな力になります。子どもや孫、またその次の世代が豊かな地球で暮らせるように、できることから始めてみませんか。

《4・5面に関連記事》  
☎企画政策課 ☎225-2450



まちのコイン

### できることから少しずつ まちのコイン アユモ

厚木市版のコイン「アユモ」を使うと、地球に優しい生活に加え、地域のひととのつながりも増えます。地球の未来を考えて、ちょっとお得に生活できるアユモを使ってみませんか。



詳しくはこちら

#### ■加盟スポットの募集

加盟すると、お店や団体の課題解決や知ってもらうきっかけになります。

#### 《写真の加盟スポットの概要》

- ①余剰食品を加工した飼料を使う養豚場
- ②瓶の再利用などに取り組むエステティックサロン
- ③暮らしの悩みなどが相談できる地域の保健室
- ④寄付食材の料理が食べられる飲食店



《SDGs》2015年に開かれた国連の「持続可能な開発サミット」で193カ国が賛同し、30年までに達成を目指す世界共通の目標。17の目標、169のターゲットがあり「地球上の誰一人取り残さない」ことが誓われている。



詳しくはこちら



Zoom Up

児童目線で通学路を点検

小型カメラで事故を未然に防ぐ

市では、交通死亡事故ゼロを目標に掲げ、啓発や交差点のカラー化などの対策に取り組んでいます。その一つとして、通学路の安全を確認するため、ランドセルに付けて映像を撮影できる小型カメラを導入。子ども目線の映像から危険箇所などを把握し、改善につなげていきます。

2021年、全国で起きた交通事故は30万件以上でした。千葉県八街市では、下校中の小学生が犠牲となる痛ましい事故が発生。市内では711件発生し、うち31件は中学生以下の子どもが関連した事故でした。市ではこれまでも、学校から通学路の改善要望を受け付けるなどの対応をしてきましたが、今年度から、さらに安全対策を強化。カメラによる通学路の点検を新たに始めました。

点検で安全な通学路に

大人の目線では気付きにくい通学路



カメラを付けて通学路を登校する児童たち

の危険を見つけるため、児童のランドセルに付けて通学路を撮影できる小型ウェアラブルカメラ(左欄参照)を市内全小学校に2台ずつ導入しました。6月には、モデル校で実際に装着し、子ども目線での点検を始めました。点検したのは、妻田・清水小学校の2校です。集団登校中の先頭と最後尾の児童に小型カメラを付け、通学の様子を撮影。見通しの悪い交差点や通勤時間帯の交通量が多い場所などに加え、大人の目線では見えにくい箇所がないか点検しました。撮影は、登校・下校時の1回ずつ。事故の恐れのある箇所だけでなく、子どもの危険な行動

危険な箇所は改善を

撮影した映像は、市職員や県土木事

なども把握できます。カメラを使い、自治体と学校が協力して交通安全対策に取り組むのは、全国でも初めてです。子どもが妻田小学校に通う藤井千絵子さん(46・妻田西)は「普段から、下校時は特に交通量が増えるので気をつけるよう伝えていた。今回の点検では、危険な場所を映像で確認できるだけでなく、子どもの注意がどこに向いているのかも分かると思う」と取り組みに期待を寄せます。

対策に向けた取り組み



実際の撮影映像

カメラを付け登下校時の通学路を撮影

映像を協議会で共有し検証

問題点を改善



ウェアラブルカメラとはリュックサックの肩ひもや自転車などに装着し撮影できる軽量な小型カメラ。手に持たず撮影者の視点で撮影が可能

市では他にも、全年代への自転車用ヘルメット購入費補助や、子ども・高齢者向け交通安全教室の開催など、事故防止に取り組んでいます。これからも交通死亡事故ゼロに向けて、安全なまちづくりを進めていきます。

問 学務課 ☎25-2650

対策強化で安全な通学路に

市内小・中学校全36校を対象に、通学路の交差点内のカラー化やガードレールの設置など、安心・安全な道づくりを目指します。 ☎道路整備課 ☎225-2310

《実施例》 愛甲小学校正門前(歩行者たまりを拡幅)



施工前

待機場所が狭い歩道



施工後

広くなった歩行者たまり

特色のある教育を

幼稚園で楽しく学ぼう

特色ある教育に取り組む市内の幼稚園で、子どもに合った幼児教育を受けてみませんか。

☎こども育成課 ☎225-2262



入園願書を10月15日から配布開始

2023年度の新入園児の願書を受け付けます。願書や募集要項は各園で配布します。

- 《対象》 3歳～就学前の子ども
- 《開園時間》 7時30分～19時
- 《保育時間》 9～14時(時間外は預かり保育)

対象や時間、保育料は園ごとに異なります。見学の申し込みなど、詳しくは希望の園に問い合わせてください。

本厚木駅前の公共施設から幼稚園に送迎

送迎が難しい保護者に代わり、あつぎ市民交流プラザの託児室「わたぐも」を中継場所として、送り迎えするサービスです。

- 《対象》 対象幼稚園の在園児(対象幼稚園はこども育成課に問い合わせ)
- 《利用時間》 受け付け=7時15分～8時15分  
引き取り=18時30分～19時30分(一時的な利用も可)
- 《利用料》 片道100円

☑対象幼稚園にある申込書を、在園する幼稚園に提出。

詳しくは市HPに掲載▶







## Zoom Up

# 9月9日は救急の日 救急車の適正利用を

感染症や熱中症で、今夏は救急現場が厳しい状況でした。必要なときは速やかな119番通報が大切ですが、緊急性の低い案件もあります。救える命を確実に救うため、救急車の使い方やできる備えを改めて見直しませんか。

### 本当に必要な人のために

コロナ禍で救急件数が増加し、救急の現場は全国的にも厳しい状況にあります。厚木消防管内では、2022年7月末時点で7438件の救急案件があり、21年と比べておよそ1.18倍に増えました。感染症予防の防護服の装備や搬送先の選定に普段より時間がかかるのに加え、夏は厳しい暑さのため熱中症での通報も多く、状況は逼迫しています。

そんな中、厚木消防に寄せられる通報には「体調が悪く病院に行きたいが、移動手段がない」「今日から入院するので呼んだ」など緊急性の低いものも少なくありません。救急救命課の松谷伸佳係長は「救急車は、一分一秒を争う緊急性の高い傷病者のためのもの。救える命を確実に救うためにも、緊急性の低い通報は控えてほしい」と訴えます。一方で、救急車が必要と判断したときは迷わず通報することが大切です。市では、救急車を呼ぶか迷ったときに電話で専門家のアドバイスを聞ける「あつぎ健康相談ダイヤル24」を設置

しています（左欄参照）。

### 一人一人が備えを

市では他にも、「救急安心カード」「救急医療情報セット」の配布（左欄参照）や、各種救命講習会の開催に取り組んでいます。

カードは、あらかじめ持病やかかりつけ医を書いて持ち歩くもので、セットは自宅に保管するもの。駆け付けた救急隊員や医療機関の職員が、速やかに傷病者に合った対応を取るのに役立ちます。

救命講習会では、市民の皆さんが応急手当での知識や技術を習得できます。救急車が到着するまでに、周りに居合わせた人が救命処置をしたことで、社会復帰する割合が2.7倍になるというデータがあり（※）、多くの人が受講することによって、よりたくさんの人を救うことにつながります。

9月9日は救急の日。改めて救急車の使い方を見直すのに加え、一人一人ができる備えに取り組みましょう。

救急救命課 ☎223-9365  
※総務省消防庁「令和3年版 救急救助の現況」から抜粋

## あつぎ救急フェア

救急車の適正利用の必要性や心肺蘇生法などが学べるイベントを開催します。

《日時》9月10日 9～14時

《場所》アツギトレリス

《内容》AEDを使った心肺蘇生法の体験、救急車・資器材の展示など  
☎当日直接会場へ。



2019年の様子

☎救急救命課 ☎223-9365

## 救急車を呼ぶか迷ったら

医師や看護師などの専門家が24時間相談に応じます。

あつぎ健康相談ダイヤル24  
**0120-31-4156**

☎健康長寿推進課 ☎225-2174

## いざという時のために 持っておこう

### ●救急安心カード

《配布場所》救急救命課、消防署、公民館、健康長寿推進課、介護福祉課など

☎救急救命課 ☎223-9365

### ●救急医療情報セット

《配布場所》公民館、介護福祉課、障がい福祉課など

☎介護福祉課 ☎225-2220

## 新型コロナワクチン接種のお知らせ

※情報は8月18日時点。

### ■一度もワクチンを接種していない方の接種

10月半ば以降に、2回目接種を終えた全ての方へのオミクロン株対応ワクチン接種が検討されています。集団接種で1・2回目未接種の方の接種を実施します。希望する方は、予約してください。

《日時》① 9月2・23日 12時～18時30分

② 9月3・24日 9時～15時30分

※1・2回目を同一時間でセット予約

《場所》老人福祉センター寿荘

《対象》12歳以上で一度も接種していない方

《ワクチン》ファイザー社製

☎予約サイト、コールセンター ☎0570-054-666へ。

### ■ワクチン接種証明書（国内用）をコンビニで発行

《日時》毎日6時30分～23時 《場所》セブンイレブン

《費用》120円

☎マイナンバーカードを持ち、直接店舗へ。

※海外渡航用は、すでにアプリまたは窓口で取得した方のみコンビニ発行が可能。

### ■3・4回目接種

集団・個別接種で予約を受け付け中。

☎ワクチン接種コールセンター ☎0570-054-666



1・2回目接種



接種証明書



3・4回目接種

## 9月10～16日は自殺予防週間

# こころ、元気ですか？

ストレスの多い現代社会では、心の疲れに早めに気づき、対応することが大切です。一人で抱え込まず、まずは相談しましょう。

### 臨床心理士による いのちのサポート相談

心の専門家である臨床心理士が、面接や電話で心の健康相談を受けています。

《日時》9月12日 13～16時

10月6日 9～12時

10月17日 13～16時

《場所》保健福祉センター

《対象》市内在住の方 《費用》無料

☎希望日の前日までに健康づくり課 ☎225-2201へ。



特集 知って始めるSDGs



一人の「少し」がつくる未来

2015年に始まったSDGsは、少しずつ社会に浸透し、取り組みを見聞きする機会も増えてきました。特集では、SDGsの普及を進める神奈川工科大学の学生団体の活動や市民の取り組みを紹介し、一人一人にできることを考えました。

企画政策課 ☎225-2450

あつき 元気Wave 9/1~CATVで放送

「どうしたら子どもたちがSDGsに興味を持ってもらえるかな」「ゲーム形式で楽しみながら、気付かないうちに興味を湧かしたらいいなね。そんな会話を交わすのは、神奈川工科大学の学生らで作る団体「KAIT SDGs HUB」のメンバーたち。リーダーの池田優太さん(博前期2年)をはじめ14人が、普及活動に取り組んでいます。

きっかけは好奇心

団体の活動は、昨年6月に始まりました。SDGsという言葉は1~2年前から耳にするようになったものの、内容はよく知らなかったという池田さん。きっかけは、専攻している電気電子情報工学科の小室貴紀教授との雑談でした。教授から出た「世間で話題になっているSDGsは、調べてみると奥が深そうだね」という話題。幼い頃から知らないことに強く引かれる池田さんは、SDGsを掘り下げ追求したいと思い、教授と2人で団体を立ち上げました。小室教授は「当初は、学生と一緒にSDGsを調べてみようという気楽な気持ちで始めた」と話します。講義の中でメンバーを募集すると、学内から7人の学生が集まりました。



ワークショップでカードゲームを体験



オンライン会議で活動内容を検討



太陽光発電を取り入れている農家の活動を体験

意識が変わったゲーム

「地球環境問題以外はあまり意識してなかった。世界規模の話なので、個人ではどうしようもないことだと思っていた」。メンバーの原山昂士さん(2年)は、発足当時からそう振り返ります。初回の打ち合わせで聞いてみると、他のメンバーの多くもSDGsを特定の分野の側面で見ている状態。活動は手探りでスタートでした。

団体発足から約1カ月が過ぎた頃、池田さんたちは学外のワークショップ(WS)に参加しました。行き先は、横浜市。これからの活動の手掛かりにしよう、会議中にインターネットで見つけたのです。内容は、2030年までの目標を達成するために、お金と時間を使ってプロジェクトを遂行する、人生ゲームに似たカードゲームでした。やってみると意外に難しく、参加者同士で協力・連携しないとゴールにたどり着けません。ゲームが進むうちに池田さんは「現実と置き換えてみても同じだ」と気付き、世界には立場の違う人がいて、目標も価値観もさまざま。誰かが目標を達成できても、その結果によって別の誰かを犠牲にしてしまう

関心の輪を広げる

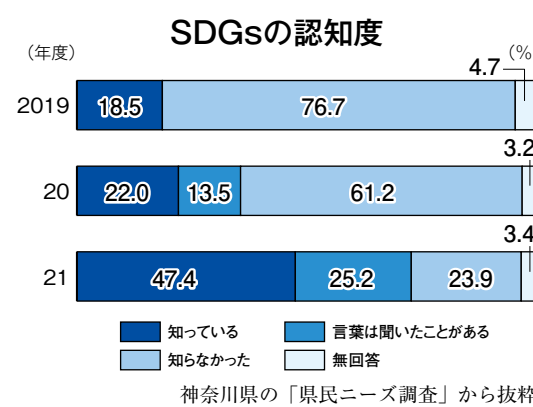
誰一人取り残さないために、多くの人が自分ごととして捉えることが必要と感じた池田さんたち。まずは学内で周知しようと、11月には、同様のWSを企画し、約30人の学生や教職員が訪れました。参加者からは「SDGsの課題ってこんなに複雑なのか」「自分のことだけ考えていては駄目で、もっと広い視野で物事を見なければいけないんだ」などの気付きの声も寄せられました。池田さんはWSをきっかけに、学内だけでなく、地域にも活動を広げたいと思うようになりました。

未来につなぐために

団体の立ち上げから1年が経過した今は、感染症の影響を受けながらも、日々工夫を凝らしながら活動を続けています。「SDGsを広めるためにも、続けるためにも、ただ知識を詰め込むだけではなく楽しむことが重

要だと実感した。私たちができることは何だろう」。団体は、9月のSDGsフェスティバル(左下欄参照)で、SDGsを学べるすごろくゲームを実施することを決めました。メンバーたちは「すごろくを体験した人の記憶に少しでも残るよう、分かりやすい説明を工夫したい」と意気込んでいます。

池田さんは来年4月から、就職で大学を離れます。これからも活動をつないでいくため、誰でも楽しめるオリジナルのカードゲーム作成を考えています。「30年に向け、SDGsだけでなく、自分たちの目標を立てて活動して欲しい」と話す池田さん。学生たちの活動は始まったばかり。ずっと先のゴールに向けて、楽しみながら活動が続いていきます。



神奈川県「県民ニーズ調査」から抜粋



すごろくゲームのリハーサルをする学生たち。左から2番目がリーダーの池田さん

豊かな生活を未来につなぐため まずは関心を持つことから 慶應義塾大学大学院 政策・メディア研究科 高木 超 特任教授 (36) 世界自然保護基金ジャパンなどによると、もし世界中の人が日本と同じ生活をしたら地球約2.8個分の資源が必要と試算されています。...

SDGs普及のために 学生が地域に出張します 「KAIT SDGs HUB」と一緒に地域の児童館や学校などでSDGsを楽しく学べます。 [内容] カードゲーム、すごろくなど [相談先] 神奈川工科大学地域連携・貢献センター ☎291-3153...

あつきSDGsフェスティバル 入場無料 パネル展示や体験コーナーでSDGsを楽しく学びながら、理解を深めませんか。 企画政策課 ☎225-2450 日時 9月25日 10~16時 場所 あつき市民交流プラザ 内容 SDGsすごろく=①11時~②13時~③15時~(各回1時間) ゲーム形式でSDGsを楽しく学ぶ。 ◆自転車シミュレーター、SDGsへの思いを書くデジタルメッセージボード、楽しく学べる展示・クイズラリーなど

私たちのSDGs SDGsの推進は大切。でも、個人でできることは何なのでしょう。日常の身近な行動が、実はSDGsに関係のあることかもしれません。皆さんの生活や工夫、それがどんなSDGsにつながっているか考えました。 自分のできることで誰かの力に 小泉京子さん(74・林) 5年ほど前に、不要な食品などを必要な家庭に提供する「フードバンク」が市内にあることを知りました。... 家事は分担 これからも夫婦仲良く 小林稜典さん(30・金田) 平日の家事は仕事の関係で妻に負担をかけてしまっています。... 地元の食材なら安心して買える 高橋清志さん(70) 毎週開催されている夕焼け市で、野菜や菓子を定期的に買いに来ています。... 清掃ボランティアでまちをきれいに 赤羽根めぐみさん(56・田村町) 2年ほど前から、駅周辺のごみを拾うボランティアに毎週参加しています。... できるだけごみを出さないように 対馬綾野さん(24・恩名) 普段出掛けるときはマイボトル・マイ箸・マイバックを持参して、割り箸やレジ袋などのごみになりそうな物はもらわないようにしています。...



## 「あつ木のおもちゃ」で木育

子どもが生まれた家庭に間伐材で作った積み木を贈呈



市長から積み木を受け取る牧さん（左）

子どもが生まれた家庭に市内産のヒノキで作った積み木をプレゼントする事業を、8月から始めました。初日は、小林市長が厚木市まるごとショップ「あつまる」で、3組の親子に積み木を手渡しました。

積み木の材料は、森林整備の際に生じる間伐材を利用。良好な森林環境の保全と、子どもたちに幼少期から木のぬくもりや質感に触れてもらうことを目的としています。対象者には、助産師や保育士が家庭訪問の際に引き換え券を配布し「あつまる」で受け取る仕組みです。積み木を受け取った牧裕二さんは「積み木からヒノキの香りがして、厚木の自然の良さを感じた。大切に使います」と話しました。

## 七つの事業を市民らが評価 市民参加型外部評価を実施

外部評価は2008年から実施し、これまで162事業を評価してきました。今回は高齢者の雇用や、市内での住宅取得支援、スポーツ推進・コミュニティ保育推進の補助金、情報プラザ・生きがいセンターの維持管理事業などを評価しました。評価の様子は、インターネットで生中継しました。結果は、9月頃に市ホームページで公開し、事業の改善に生かします。



2日間にわたり7事業を評価する委員たち

市の事業を市民らの視点で評価しサービスの向上につなげる「市民参加型外部評価」を、あつぎ市民交流プラザで実施しました。大学教授や公募市民6人でつくる外部評価部会委員らが、市の事業を「拡大」「現行どおり」「要改善」「縮小」「廃止」の五つの区分で評価しました。



## 犯罪に強いまちを目指して

安心・安全セーフコミュニティ推進地区指定式を開催

世界保健機関が推奨するセーフコミュニティ（SC）の認証都市である市は、新たに市内16地区を「安心・安全SC推進地区」に指定しました。指定式には、各地区の代表者が出席し、小林市長から指定書を受け取りました。

推進地区の指定は、市がSCの認証を取得した翌年の2011年から実施。指定を受けた地区は、子どもの見守り活動や防犯パトロールなどに取り組みます。推進地区を代表して決意表明した、陸合北地区の袖澤良春さんは「SCの取り組みを充実させ、誰もが安心して暮らせるまちづくりを推進します」と力強く宣言しました。



押部修一厚木警察署長（右）からはプレートが渡された

## 厚木名産のアユを手笑顔

「小学生鮎つかみどり」参加予定者にアユを配布

あつぎ鮎まつりの延期に伴い中止となったアユのつかみ取りイベントに代わり、参加予定者への無料配布を実施しました。受け取った子どもたちは「もらえてうれしい」「来年はつかみ取りをしたい」と笑顔を見せました。

配布は、市内産のアユを子どもたちに味わってもらおうと実施。参加予定だった小学生600人に連絡し、約400人が受け取りを希望しました。当日は、混雑を避けるために市が指定した時間に合わせて親子連れが会場を訪れ、4匹ずつアユを受け取りました。



中町大型バス発着場に設けた会場で配布

## 第11回 みんなで! SDGs

持続可能な社会を目指す世界共通の目標「SDGs」。その達成のために17の目標を知り、できることから実践しませんか。

### 目標17 パートナースhipで目標を達成しよう

幅広い分野にわたるSDGsの目標の実現には、国だけでなく、企業、学校、地域、家庭での取り組みが欠かせません。一人一人が、自分ごととして実現を目指しましょう。

### 17 パートナースhipで目標を達成しよう



### できる取り組みは?

#### SDGsの情報を拡散する

SDGsの実現には、多くの人の協力が不可欠です。情報は、テレビやインターネット、新聞などで毎日のように目にする機会があります。家族や友人などと話したり、SNSで発信したりするなど、周りに広めましょう。



#### SDGs関連のイベントに参加する

関連イベントへの参加も、個人ができることの一つです。SDGs全般の理解を深められるのはもちろん、地域での身近な取り組みを知ることができます。イベントへの参加は、SDGsを「自分ごと化」するきっかけにつながります。

企画政策課 ☎225-2450

「鮎まつりを延期する」。開催2週間前、実行委員会に諮り苦渋の決断を下しました。感染症が過去最大の勢いで再拡大する中、来場者や市民の皆さんの安全を守るのは難しいと判断したからです。

期待の声をたくさん頂いていました。河川敷などの安全対策も整えていました。花火師や各団体、店舗の皆さんの準備も、着実に進んでいたことと思います。3年ぶりの祭りを

うとともに、対策の難しさを身をもって痛感しました。今後も新たな変異株が出現する可能性がありま。各自ができる防衛策を徹底していただくようお願いいたします。

花火は、11月5日に延期することとしました。少し寒い時期ですが、澄んだ夜空に上がる花火は色鮮やかで美しいことと思います。今度こそ念願をかなえられるよう、安全な開催に向けた準備を進めてまいります。



11月5日に延期となった鮎まつり

予定通りできなかったことが残念でなりません。収束に向かっていると思われていたコロナ禍は、「BA.5」の出現で状況が一変しました。私自身も7月上旬に発熱し、陽性と判定。予防を呼び掛ける立場での感染を申し訳なく思



# タウンガイド

9月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

10月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

☑=申し込み ☎=問い合わせ ☎=電話番号  
 ☎=ファクス番号 ✉=Eメール HP=ホームページ  
 📍=講座予約システム(インターネットで申し込み可)  
 市役所への郵便物は「〒243-8511〇〇課」で届きます。

## あつぎのしゃしん。

「サルスベリと大山」  
 #8月7日撮影  
 #百日紅  
 #玉川野球場入口  
 #niceatsugi  
 広報課公式イン  
 タグラムで公開中



### 新型コロナウイルス感染症に関する県の相談窓口

#### 新型コロナウイルス感染症専用ダイヤル(24時間対応)

感染の不安がある方、健康・医療の相談、診療  
 ができる医療機関の案内など

☎0570-056-774

新型コロナウイルスの影響で掲載の催しが中止となる場合や、利用に制限のある施設があります。市HPで随時お知らせします。

### 厚木市民朝市

日曜、6～7時。文化会館。市内産の農畜産物や加工食品などを販売。  
 ☎農業政策課☎225-2801。

### 夕焼け市

11月2日までの水曜、16～17時。荻野運動公園。市内産の農産物や加工食品などを販売。  
 ☎農業政策課☎225-2801。

### あつぎノーマイカーデーの参加者を募集

自家用車などの利用自粛に協力していただける方を募集します。  
 《実施日》11月4日《内容》通勤や買い物などでの利用を控え、交通混雑緩和や二酸化炭素削減量などを調べて効果を検証。  
 📍市HPにある申込書を直接または郵送、

ファクス、Eメールで11月4日(消印有効)までに〒243-8511都市計画課☎225-2357・☎222-8792・✉4600@city.atsugi.kanagawa.jpへ。詳細は市HPに掲載。

### 健康マージャン大会・ゲストプロトのお楽しみ対局参加者募集

「ねんりんピックかながわ2022厚木市交流大会」に合わせ、プロトの対局イベントを開催します。  
 《日時》11月①13日、10時30分～②11時45分～③13時45分～④15時～。⑤14日、10時～⑥11時5分～⑦12時50分～⑧13時55分～(各回50分)《場所》荻野運動公園《定員》80人《ゲスト》井出洋介、土田浩翔、松本吉弘、水口美香《費用》無料。  
 📍ハガキ、ファクス、Eメールに氏名(ふりがな)、〒住所、生年月日、希望時間(①～⑧)三つ、

### あつぎ公園通り商友会 商店街プレミアム商品券を販売

1セット6500円分の商品券を、5000円で販売します。



販売期間 9月1日～10月31日  
 販売場所 参加店舗(市HPに掲載)  
 価格 1セット5000円(500円×13枚)  
 購入上限 1人10セット  
 発行数 1600セット  
 使用期限 10月31日まで  
 📍当日直接販売場所へ。先着順。



▲詳細は市HPに掲載

☎商業にぎわい課☎225-2840

### あつぎ協働大学特別講座

## 天気の人と考えるカーボンニュートラル

気象予報士の天達武史さんあまたつたけしの話から、カーボンニュートラルの必要性を考えてみませんか。

公開日 9月20～30日

内容 YouTubeによる動画配信。気象予報士の天達さんを講師に迎え、地球温暖化や異常気象の問題からカーボンニュートラルを考える。

費用 無料

📍9月1～30日に市HPから申し込み。申込者に閲覧先のURLを送付。

☎文化生涯学習課☎225-2512



《プロフィール》横須賀市出身。テレビ番組の気象防災キャスターとして、幅広い年代にとって分かりやすく興味を持って天気予報を伝えている



◀市HPはこちら

希望の対局相手を書き、9月1～30日(必着)に〒243-8511スポーツ推進課☎225-2425・☎223-0044・✉8850@city.atsugi.kanagawa.jpへ。先着順。詳細は市HPに掲載。

### 里地里山保全等促進委員会の委員を募集

条例の運用へ助言・点検をする委員を募集します。

《対象》①市内在住勤務在学の18歳以上②平日昼間の会議(年2回程度)に出席できる③他の審議会などの委員でない④市の議員・職員でない⑤の全てを満たす方2人《任期》11月～(2年間)《報酬》日額7800円(交通費含む)。  
 📍環境政策課や市HPにある申込書を、直接または郵送、Eメールで9月30日(消印有効)までに〒243-8511環境政策課☎225-2749・✉3100@city.atsugi.kanagawa.jpへ。書類選考あり。

### 生産緑地地区変更に伴う都市計画変更案の縦覧と意見書の受け付け

《閲覧期間》9月12～26日(土・日曜、祝日を除く)《縦覧場所》都市計画課《意見書提出》直接または郵送、ファクス、Eメールで、9月26日(必着)までに〒243-8511都市計画課☎225-2401・☎222-8792・✉4600@city.atsugi.kanagawa.jpへ。

### 市議会副議長が決定

8月5日の市議会第3回会議で、副議長に瀧口慎太郎氏(ネクストあつぎ)が選出されました。瀧口氏は、総務企画や環境教育常任委員会の委員長などを歴任。3期目。43歳。長谷在住。  
 ☎議会総務課☎225-2700。



### 一定所得以上の後期高齢者医療加入者の自己負担割合を変更

10月1日から一定以上所得がある方は、医療機関などで支払う医療費の自己負担割合が、1割から2割になります(3割負担の方は変更なし)。2割負担となる方には、1カ月の外来医療の負担増加額を3000円までに抑える措置を3年間適用(入院を除く)。措置の適用で払い戻しとなる場合、登録されている高額療養費の口座に後日入金。口座の登録がない場合、9月中に広域連合から申請書を郵送します。  
 ☎国保年金課☎225-2223。

### 9月1～10日は「屋外広告物適正化旬間」

屋外に設置されている広告物には、掲出位置や大きさなどのルールがあります。設置には条例に基づく許可が必要なため、事前に相談してください。ルールを守ってきれいなまちをつくりましょう。  
 ☎都市計画課☎225-2401。

### みんなの声でまちをつくる

#### 《パブリックコメント》

#### ■自立経営農家育成資金融資条例廃止

☎農業政策課☎225-2800

#### ■市税条例の改正

☎資産税課☎225-2031

#### ■個人情報保護条例などの改正

☎行政総務課☎225-2287

いずれも《閲覧期間》9月1日～10月3日《閲覧場所》各課、市政情報コーナー、公民館、本厚木・愛甲石田駅連絡所、保健福祉センター、中央図書館、あつぎ市民交流プラザ、市HP《応募方法》閲覧場所にある用紙で確認。

### インターネットモニターからの意見を紹介



インターネットモニター募集中

厚木市 インターネットモニター 検索

☎広報課☎225-2043

### 8月1日号「広報あつぎ」を読んで

◆鮎まつり延期の判断に賛成。表紙の写真がすてきだった/30代女性 ◆祭りの延期は残念だが安全に楽しめる時期に開催してほしい/40代女性 ◆家庭ごみの約50%が生ごみでその多くが食品ロスということに驚いた。我が家でも何ができるか考えたい/50代男性 ◆例年以上に暑さが厳しく湿度も高いので改めて食中毒には気をつけたい/50代男性 ◆あつぎジャズナイトが楽しみ/70代以上男性

### 編集後記

特集の取材で、学生たちがSDGsの普及に励んでいる姿を見て、もっと自分ごととして捉えなければと改めて気付かされました。一見関係のなさそうな行動も、実はSDGsにつながっているのだと驚くことも多々ありました。身近な行動の一つ一つが、周りに良い影響を与えることもあれば、悪い影響をもたらすこともあるということ意識しながら生活していこうと思います/永井





多様性のある厚木を表現し  
日中は白、夜は鮮やかな色に変わる

あつぎ 元気Wave  
9/1~CATVで放送

設置期間 9月1~30日

# ATSUGIモニュメント あつぎいろ

街のにぎわい創出と商業活性化のため、本厚木駅北口広場にモニュメントを設置し、三つのキャンペーンを実施します。

☎商業にぎわい課 ☎225-2840

## ◀◀◀ キャンペーン ▶▶▶

《期間》9月1~19日

《内容》①協力店舗で割引などの特典が受けられる。協力店舗や特典の内容は市HPに掲載  
②③期間内にリツイート・投稿した方から抽選で40人に市の名産品や旅行券、本厚木ミロードギフトカードなどをプレゼント [詳しくはこちら](#)



### ① モニュメントを撮影し お店で優待

モニュメントの写真を撮影し、協力店舗で提示すると割引などのお得なサービスが受けられる

### ② ツイッター Twitterで プレゼント

市広報課のアカウント(@AtsugiCity\_PR)をフォロー。同アカウントのキャンペーン関連投稿をリツイート

### ③ インスタグラム Instagramで プレゼント

モニュメントの写真を撮影し、自身のアカウントでハッシュタグ「#あつぎいろ」を付けて投稿

9月20~26日  
動物愛護週間

## ペットは家族の一員

最期まで責任を持ち、大切に飼いましょう。

☎生活環境課 ☎225-2750

### ペットを飼うときは

- ①繁殖を望まない場合は、不妊・去勢手術を受けさせる
- ②犬の散歩はリードを付け、ふんを持ち帰るなどのマナーを守る
- ③所有者を明確にするため、鑑札やマイクロチップなどを着ける
- ④災害に備え、キャリーバッグや備品などを用意
- ⑤責任を持ち一生を終えるまでの間、飼養する



### 猫の不妊・去勢手術費用を助成

《金額》雄=3000円 雌=4500円

☎本人確認書類を持ち、生活環境課へ。詳細は市HPに掲載。

### TNRを知っていますか？

野良猫を捕まえて(Trap)不妊・去勢手術し(Neuter)元の場所に帰す(Return)ボランティア活動。繁殖を抑え、野良猫の被害を減らします。



詳細は市HPに掲載



猫は原則室内で飼う

## 自然歳時記

### ●キイトンボ● イトトンボ科

体長40<sup>mm</sup>前後で雌の方が大きい。湿地や池などに生息する。雄の腹部は鮮やかな黄色で雌は黄緑色。名は体色に由来する。県や市のレッドデータ絶滅危惧種に指定されている/七沢で見つけた。 写真・文/吉田文雄



アサザの黄色い花咲く水辺にクロイトンボが飛び、スイスイ泳ぐナミアメンボの姿が涼しげだ。ふと水面を横切った黄色い筋を目で追うと、連結したキイトンボがアサザの葉に止まっていた。しばらく見ていると、葉の裏に産卵を始めた。雄も羽を休め、水面

が産卵の様子を美しく映し出していた。このトンボを見たのは十数年ぶり。当時の谷戸は水量が多く、休耕田に水が行き渡って水生植物が繁茂し、トンボ類が多かった。環境悪化が進む今こそ、つましく生き、人知れず生き残った希少な生き物の生息環境を守りたい。

厚木市の人口  
(8月1日現在)

🏠 世帯数 10万3203世帯 (前月比92世帯増)

👤 人口 22万4055人 (前月比4人増) 男11万5349人・女10万8706人